

2021年11月2日

各位

## 地域文化活動助成制度の第60回助成先が決定！

～「草の根」文化活動をお手伝いして30年～

株式会社伊予銀行(頭取 三好 賢治)は、第60回 地域文化活動助成制度の助成先を決定しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

本制度は、愛媛県内で文化活動を継続しておられる皆さま方に対し、活動経費の一部を助成させていただくことで、地域独自の伝統文化の継承や地域生活文化の水準向上に寄与することを目的としています。コロナ禍でも感染対策を講じて活動されている団体は数多くあり、今回も前回とほぼ同数となる23先に総額440万円を助成いたします。

本制度は1992年から年間2回の助成を30年にわたって実施しており、今回分を含めた累計は、先数で1,274先、総額2億4,700万円となります。(「平成30年7月豪雨」被災団体対象 特別助成14先、697万円を含む)

### 記

#### 〔第60回 地域文化活動助成制度の概要〕

- 助成先数 23先
- 助成金額 440万円
- 助成金贈呈式 松山市で開催(詳細は別紙をご参照ください。)
- 助成先(分野別、順不同、敬称略)

<b>郷土芸能分野 (9先)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・松山景雲会(松山市)</li> <li>・伊予源之丞保存会(松山市)</li> <li>・伊予万歳玉寿会(松山市)</li> <li>・河野善応寺獅子舞保存会(松山市)</li> <li>・高部獅子舞保存会(今治市)</li> <li>・高原青年団(上島町)</li> <li>・八幡神楽 垣生神楽部(西予市)</li> <li>・坂石客神社牛鬼保存会(西予市)</li> <li>・鳥鹿野・旭鹿の子(西予市)</li> </ul>	<b>郷土史分野 (4先)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毛利家史料調査会(宇和島市)</li> <li>・松前町松前史談会(松前町)</li> <li>・三輪田米山顕彰会(松山市)</li> <li>・宇和島空襲を記録する会(宇和島市)</li> </ul>
	<b>創作芸能分野 (1先)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・TORANOKO Performing Arts Company(松山市)</li> </ul>
<b>音楽分野 (5先)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・松山市民コンサート(松山市)</li> <li>・宝山吟詠会 砥部支部(砥部町)</li> <li>・東温ジュニアハーモニー(東温市)</li> <li>・砥部ウインドアンサンブル(砥部町)</li> <li>・四国中央少年少女合唱団(四国中央市)</li> </ul>	<b>文芸分野 (1先)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・川柳峠社(新居浜市)</li> </ul>
	<b>生活文化分野 (2先)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・砥部アートプロジェクト(砥部町)</li> <li>・佐田岬裂織り保存会(伊方町)</li> </ul>
	<b>自然科学分野 (1先)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・津島自然を守る会(宇和島市)</li> </ul>

以上

【助成金贈呈式】

○日 時

2021年11月9日（火） 10:30～12:50

○場 所

東京第一ホテル松山 2階 コスモホール

○式 次 第

- 10:30 当行代表挨拶
- 10:35 助成金目録・賞状贈呈
- 11:00 伊予銀行文化振興顧問団委員祝辞
- 11:05 助成団体の活動映像紹介・質疑応答
- 12:25 記念撮影
- 12:45 閉式挨拶
- 12:50 閉式

○出 席 者

助成団体 23 先の各代表者様  
 伊予銀行文化振興顧問団（今治地方文化交流会 顧問 新居田 大作氏ほか 3 名）様  
 当行常務取締役 長田 浩

以 上

助成団体・助成内容の一例ご紹介

<p>松山景雲会 様</p>	
<p>助成対象：子供向けワークショップ開催</p>	
<p>能は室町時代に大成され、重要無形文化財や、ユネスコの無形文化遺産にも指定されている日本の伝統芸能です。代表の宇高氏は、京都を拠点に活躍する能楽師で、先祖が伊予松山藩お抱えの能楽師であったことから、松山における能楽の伝承と普及に尽力されています。</p> <p>多くの方々にもっと気軽に能を楽しんでもらおうと、毎年「松山市民能」を開催し、低料金で一流の能を鑑賞できる機会を設けている他、能の内容や舞台裏を解説する公開講座「エンジョイ能」の開催や、能面の展示会等、様々な取組みを続けてきました。</p> <p>今後は、やがて世界に羽ばたく子どもたちに、早いうちから日本の伝統文化に触れてもらいたいと、小・中学校や公民館で、第一線で活躍する能楽師の舞台鑑賞を行う他、本物の道具や装束を使って、普段見ることができない能面の取付け方や装束の着付け、能独自の所作や感情表現等を解説する無料のワークショップ開催を計画しています。</p>	